

中高生の生活実態に関するアンケート調査【生徒用】

(ヤングケアラー支援に係る実態調査票)

このアンケート調査は、全道の公立中学校、高校（札幌市立を除く）に通う2年生を対象に実施しており、みなさんに学校や家庭での生活状況の中で抱える悩みや困りごとなど（特に家族の方のお世話に関すること）をお聞かせいただき、それらの解決に必要な支援策を検討するために行うものです。

みなさんの回答の一つ一つが参考になるものであり、より良い支援を検討していくためにも、できるだけ多くの方の意見をお聞きしたいと考えています。

ぜひ、調査へのご協力をお願いします。

調査方法

調査は、パソコン又は携帯電話をお使いいただき、ネット上でご回答いただきます。

次の URL にアクセス又は QR コードを読み取って、回答ページにお入りいただき、アンケートフォームに直接回答を入力してください。

令和3年8月27日（金）までに入力をお願いします。

○URL <https://www.harp.lg.jp/DCqInnWA>

○QR コード



(QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です)

注意事項

- ◎同じ人が2回以上回答しないよう、十分注意してください。
- ◎本調査は、60分間通信がない（操作がない）場合、自動的にタイムアウトとなり、それまで入力した内容が破棄されます。ご記入にお時間がかかる場合は、一時保存をご利用ください。

【入力した内容の一時保存と入力の再開について】

- ・画面下部にある、一時保存のボタンをクリックしてください。
- ・メールアドレスとパスワードの入力を求められますので、ご自身のメールアドレス（パソコンまたは携帯電話）と、ご自身で決めたパスワードを入力してください。
- ・指定したアドレスに、新たな URL が記載されたメールが届きます。
- ・新たな URL を開き、パスワードを入力することで、調査を再開することができます。

この調査に関するお知らせ

- ◎調査は無記名で行います。回答は自由です。回答しなくてもあなたに不利益は全くありません。
- ◎回答期限の本年8月27日（金）までの期間、いつでも回答することができます。
- ◎答えにくい質問は、答えなくても構いません。無理のない範囲で協力してください。
- ◎集計はデータを統計的に処理して行いますので、個人が特定されることはありません。
- ◎あなたの回答内容を先生が見ることもありません。
- ◎集計結果は道のホームページなどで公表します。調査結果は今後のヤングケアラー支援施策のために生かしてまいります。

(お問い合わせ先)

北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課 児童相談係担当

電話：011-204-5237

メール：hofuku.kodomo1@pref.hokkaido.lg.jp

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

※ 生徒の皆さんにご回答いただく調査の内容は下記のとおりです。(こちらは見本用の調査票であり、実際は携帯電話またはパソコンから Web 上で回答いただきます。また、見本用のため、実際の Web 上のレイアウトと一部異なるところがあります。)

A. 基本情報

問 1 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号 1 つを選択)

1. 中学 2 年生
2. 高校 2 年生 (全日制・定時制)

問 2 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号 1 つを選択)

1. 男性
2. 女性
3. その他

問 3 現在住んでいる地域を教えてください。(あてはまる番号 1 つを選択)

1. 空知地域
2. 石狩地域
3. 後志地域
4. 胆振地域
5. 日高地域
6. 渡島地域
7. 檜山地域
8. 上川地域
9. 留萌地域
10. 宗谷地域
11. オホーツク地域
12. 十勝地域
13. 釧路地域
14. 根室地域
15. 地域がわからない場合は市町村名を書いてください(市町村名:)

問 4 あなたの家族について教えてください。

(1) 現在、一緒に住んでいる家族(単身赴任している父母等を除く)は、あなたを含めて何人ですか。

() 人

(2) 現在、あなたと一緒に住んでいる家族(単身赴任している父母等を除く)について教えてください。(あてはまる番号すべてを選択)

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. 兄 ⇒ () 人
6. 姉 ⇒ () 人
7. 弟 ⇒ () 人
8. 妹 ⇒ () 人
9. その他 ()

(3) 現在、あなたの家族に単身赴任している父母等はいいますか。

(あてはまる番号 1 つを選択)

1. いる
2. いない

	<p>7. 自分 8. 福祉サービス（ヘルパーなど）を利用 9. その他（ ）</p>
	<p>問6（2）-c （2）-bで「7. 自分」を含む回答をした方にお聞きします。（以下、問13まで同じ。）あなたがしているお世話の内容を教えてください。（あてはまる番号すべてを選択）</p> <p>1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯） 2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など 3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など） 4. 外出の付き添い（買い物、散歩など） 5. 病院への付き添い 6. 感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手、遊び相手になるなど） 7. 見守り 8. 通訳（日本語や手話など） 9. 金銭管理 10.薬の管理（薬を小分けにしたり、渡したりするなど） 11.医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など） 12.家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど） 13.その他（ ）</p>
	<p>問6（2）-d 問6（1）の方は、病院に通院したり訪問医療などを利用していますか。（あてはまる番号1つを選択）</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. わからない</p> <p>問6（2）-e （2）-dで「1. はい」と答えた方にお聞きします。あなたは、病院の医師や看護師など、医療関係者の方々と、問6（1）の方のことでお話ししたことがありますか。（あてはまる番号1つを選択）</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>問6（2）-f 問6（1）の方は、福祉サービス（ホームヘルパー、デイサービス等）などを利用していますか。（あてはまる番号1つを選択）</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. わからない</p> <p>問6（2）-g （2）-fで「1. はい」と答えた方にお聞きします。あなたは、ホームヘルパーやケアマネージャーなど、これら福祉サービスの職員の方々と、問6（1）の方のことでお話ししたことがありますか。（あてはまる番号1つを選択）</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>

★以下は、お世話を必要としている方が複数いる場合も、それぞれの方ごとではなくまとめてお答えください。		
問6(3) あなたがお世話を始めたのは何歳の時からですか。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません)		
() 歳頃から		
問6(4) あなたがお世話をしている日数を教えてください。(あてはまる番号1つを選択)		
1. ほぼ毎日	2. 週に3～5日	3. 週に1～2日
4. 1か月に数日	5. その他()	
問6(5) あなたは、平日(月から金など学校がある日)にお世話はどれくらいしていますか。だいたいの時間数をお答えください。		
1. 1日()時間程度	2. わからない	3. 日によってずいぶんちがう
問6(6) あなたは、休日にお世話はどれくらいしていますか。だいたいの時間数をお答えください。 ※休日～(5)の平日以外で学校がお休みの日		
1. 1日()時間程度	2. わからない	3. 日によってずいぶんちがう

問7(1) あなたは、お世話をしていることで、次のようなことはありますか。(あてはまる番号すべてと、()内の当てはまるものを選択)

1. 学校に行けないことがある (よくある ・ たまにある)
2. 学校を遅刻・早退してしまう (よくある ・ たまにある)
3. 勉強する時間が取れない (よくある ・ たまにある)
4. 睡眠が十分に取れない (よくある ・ たまにある)
5. 友人と遊べないことがある (よくある ・ たまにある)
6. 部活や習い事が思うようにできない (よくある ・ たまにある)
7. 自分の自由になる時間が取れない (よくある ・ たまにある)
8. 自分が自由に過ごせる場所がない (よくある ・ たまにある)
9. 学校のことをどうでもいいと思うことがある (よくある ・ たまにある)
10. 1～9に当てはまるようなことはほとんどない
11. その他()

問7(2) 高校生の方にお聞きします。あなたがお世話をしていることが影響して、今後の進路について考えていることをお答えください。(あてはまる番号すべてを選択)

1. 進学をあきらめ、就職を考えている
2. 進学や就職をあきらめ、お世話に専念しようと考えている
3. 進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている

1. 誰かに相談するほどの悩みではない
2. 家族外の人に相談するような悩みではない
3. 誰に相談するのがよいかわからない
4. 相談できる人が身近にいない
5. 家族のここのため、話しにくい
6. 家族のことを知られたくない
7. 家族に対して偏見を持たれたくない
8. 相談しても状況が変わるとは思わない
9. 相談した相手を困らせたくない
10. その他 ()

問 12 次の人は、あなたが家族をお世話していることについて、知っていると思いますか。

(あてはまる番号すべてを選択)

1. 学校の先生（保健室の先生以外）
2. 保健室の先生
3. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
4. しんせきの人（おじ、おばなど）
5. SNS 上での知り合い
6. 医師や看護師、その他病院の人
7. ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人
8. その他 ()
9. 上記 1～8 の人で、知っている人はいないと思う。

問 13 あなたは、お世話をしていることに関して、学校の先生や周りの大人にしてほしいこと

(支援してほしいこと) はありますか。(あてはまる番号すべてを選択)

1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい
3. 家族の病気や障がい、お世話の仕方などについてわかりやすく説明してほしい
4. 家族での相談や、話し合いのときにいっしょに参加してほしい。
5. 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
6. 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
⇒ 具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか ()
7. 自由に使える時間がほしい
8. 自分の自由に過ごせる場所がほしい
9. 進路や就職など将来の相談にのってほしい
10. 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート
11. 家庭への金銭面での支援

- 12.その他（)
- 13.特にない
- 14.わからない

問 14 みなさんにお聞きします。現在、悩んだり困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてを選択)

- 1. 友人との関係のこと
- 2. 学業成績のこと
- 3. 進路のこと
- 4. 部活動のこと
- 5. 学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと
- 6. 塾（通信教育やオンライン授業を含む）や習い事ができないこと
- 7. 家庭の経済的状況のこと
- 8. 自分と家族との関係のこと
- 9. 家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）
- 10. 病気や障がいのある家族のこと
- 11. 自分のために使える時間が少ないこと
- 12. 自分が自由に過ごせる場所がないこと
- 13. 自分に自信が持てないこと
- 14. その他（)
- 15. 特にない

C. ヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」とは、本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを指します。

＜こんな人がヤングケアラーです（イメージ）＞



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

（ 出典 一般社団法人日本ケアラー連盟 ）

- ◎ヤングケアラーの方には様々な負担があるにも関わらず、社会的に十分理解されているとは言えず、悩みを抱えたまま生活している方も少なくありません。
- ◎道ではこのようなことを踏まえ、ヤングケアラーの方々を支援していくための施策の検討を行うことにしています。

問 15 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。（あてはまる番号1つを選択）

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

問 16 問 15 で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。（あてはまる番号すべてを選択）

1. テレビや新聞、ラジオ

2. 雑誌や本
3. SNS やインターネット
4. 広報やチラシ、掲示物
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. 友人・知人から聞いた
8. その他 ()

自由記述欄

(ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、あなたが家族のお世話をしていることで困っていること、要望等なんでも)

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

※学校や家庭生活について困ったときには、いつでも下記相談窓口へご相談ください。

主な相談窓口（北海道）				
名称	所管等	電話番号	受付	概要
子ども相談支援センター (24時間子供SOSダイヤル) (メール相談)	北海道教育委員会 (文部科学省)	0120-3882-56 (0120-0-78310)	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、LGBT、性被害、家庭の事情で自分の時間がとれないなど、様々な悩みを相談できます。
			doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp	
ほっかいどうこどもライン相談	北海道教育委員会	アカウント名「令和3年度ほっかいどうこどもライン相談」友だち登録はこちら	毎日24時間対応	ヤングケアラーなど子どもの福祉に関する様々な相談を受け付けています。
児童相談所相談専用ダイヤル	北海道保健福祉部 (厚生労働省)	0120-189-783 (いちはやく・おなやみを)		
こころの電話相談	北海道立精神保健福祉センター	0570-064-556	平日9:00~21:00 土日祝10:00~16:00	様々な悩みを相談できます。